

安全意識の向上と工事の円滑化に向けて

工事受注者や事務所職員等を対象に、管内の工事事故の事例や事故防止の対策、公共工事の円滑化に向けた新たな取組、建設業を取り巻く現状と課題や建設業法改正のポイントについて理解を深めました。

また、京都労働局より「労働安全衛生行政の現状と課題」について講話いただき、「指差し呼称」の重要性について改めて再認識し、事故防止に関するさらなる維持の向上を図りました。

協議会概要

日時 令和8年9月8日(火)

場所 京都国道事務所会議室

講話

「令和8年度 労働安全衛生行政の現状と課題」
京都労働局労働基準部健康安全課 課長 宇野 均

「直轄工事における事故発生状況について」
企画部 技術調査課 課長補佐 後藤 啓太

「公共工事の円滑化に向けた新たな取組」
企画部 技術管理課 検査係長 関島 拓夢

「建設業法について」
建政部 建設産業第一課 建設業技術係長 松永 匠

安全の誓い(工事受注者代表)
株式会社松村組 監理時術者 松村 彰人

参加者

職員等 15名

工事受注者 31名



京都労働局健康安全課
宇野課長



京都国道事務所
小川事務所長



企画部 技術管理課
関島係長



企画部 技術調査課
後藤課長補佐



株式会社松村組
松村監理技術者



建政部 建設産業第一課
松永係長